

ンヌとし、カンヌ2泊、モンテカルロ1泊、ニース2泊の予約をしました。

ニースからカンヌまで特急で25分。カンヌの駅は意外と地味で、ここに降り立った限りでは町の華やかな空気が伝わってきませんが、5月の陽光の下、世紀の大スターたちが一堂に集まる映画祭でおなじみのカンヌに到着したのです。駅から5分も歩けば海岸に出ます。華やかな高級リゾートのイメージのとおり、海岸沿いのクロワゼット大通りには高級なホテルやブティックが建ち並び、イルミネーションや四季おりおりの花が通りを飾っていました。駅と海岸との間に広がる一帯が新市街で、世紀の大スタ

ーたちが華麗な饗宴をくり広げる、カンヌの表向きの顔に出会えるところです。

カンヌから一歩内陸側に入ると、世界で活躍する調香師の大半はグラス出身といわれる、香水の町グラスがあります。この町は山の南斜面にあるため、バラ、ラベンダー、スマレ、カーネーションなどが咲きみだれ、年中花に包まれています。ここにはフラゴナルやモリナールなど見学できる香水工場があり、しかも実際に香りをかいで気に入ったものを買えるので、お土産に小瓶を数本買いました。また、フラゴナルの香水工場の隣には博物館があり、香水の歴史を知ることができます。



海岸沿いのクロワゼット大通り



フラゴナルの香水工場

カンヌの沖の2つの島(サント・マルグリット島とサントノラ島)が、レラン諸島。カンヌの港から大きい方のサント・マルグリット島へは連絡船で15分。この島は長い間監獄として使われており、デュマの『鉄仮面』のモデルとなった謎の仮面の囚人がここに囚われていたそうです。見張り台の跡からはカンヌの町と地中海の素晴らしい景観が楽しめます。

カンヌとニースの間に城壁に囲まれたアンティープの町があります。海を望む静かな場所にあるグリマルディ城の中はピカソ美術館になっており、1946年に彼がこの城に滞在したときの作品を主に展示していました。

ニースを過ぎ、国境審査もないまま列車は面

積わずか1.49km²とバチカン市国に次ぐ世界第2の小国モナコへ入国。王宮のあるモナコ市は、駅から地中海にかけて突き出した岬の上にあります。丘の上に建つモナコ公の王宮からの見晴らしは素晴らしいです。地中海の眺望もさることながら、眼下にはモンテカルロのF1コースが一望できます。F1のモンテカルログランプリは、サーキット場ではなく公道で行う唯一のレースです。そこで、F1コースを歩いて1周しました。

さて、夜はおまちかねのカジノ。身だしなみを整えて、いざ国営のグラン・カジノへと。モンテカルロ市にあるこの立派な建物は、パリのオペラ座を設計したガルニエ作。ブラック・ジ



王宮から眺めるモナコ港



国営のグラン・カジノ



高い丘の孤立した頂上にある鷺の巣村エズ



海岸沿いの高級散歩道プロムナード・デザングレ

ジャックヤルーレットができる「サル アメリケータ」は午後4時から開きますが、大物がやってくるのは午後10時過ぎ。大物たちの来る前に一勝負。ところでモナコでは、このカジノによる収入が国家の重要な財源となっていて、住民は税金を払わずにすんでいます。私のお金も市民のために有効に使われることでしょうか。ちなみにモナコのカジノは高級社交場であるため、見学でもカジュアルな服装では入場できません。ニースとモナコの間にある「鷺の巣村」と

称されるエズを観光するため、ニースへはモナコからタクシーで行くことにしました。ここには、高い丘の孤立した頂上に城壁を巡らして敵の侵入を防いだこの地方特有の要塞村がそのままの形で保存されており、真っ白な石で舗装された狭い通りと石造りの家々がじつにユニークです。ごく小さい村ですが、迷路のように道が入り組んでいて、歩き飽きませんでした。

真偽のほどは知りませんが、世界中のおのぼりさんが押し寄せるのがパリなら、世界中の金

持ちが集まるのがニースということになっているそうです。海に面した広壯無類のホテル群や華やかさと値段の高さで人々を驚かす店々など、この町にはイメージに違わぬ独特の雰囲気があります。海岸沿いの全長 3.5 km の大通りはプロムナード・デザングレと呼ばれ、弓形にのびた海岸に沿って立派な道路が走り、超一流の豪華ホテルが軒を並べ、それぞれが高級ショッピング・センターを有しています。ビーチで肌をやく美女たちは、言わずもがなだがトップレスと思いきや、いくら避寒地とはいえ1月は寒く、水着姿でビーチにいる美女すらいませんでした。緯度からいえば、ニースは北海道の網走あた

りなので(パリは樺太と同じ位置)、冬はずいぶん寒そうに思えますが、地中海からの暖かい風を受け、東京よりずっと暖かいです。読者の皆様もコート・ダジュールのリゾート地でスノッブな上流階級の気分になり、暖かいお正月を迎えてみては如何でしょうか。

外国は、日本のように新年を厳かに祝うのではなく、趣向を凝らし陽気に祝います。また、お店も通常営業です。この旅以降、旅先で新年へのカウントダウンを楽しむようになったのですが、次回の年末年始も我が家で過ごすことに…。この楽しみを再開したいものです。